

「まちなごき」		
(11月1日現在)	(10月中)	
世帯数 16,750世帯	生れた人 62人	
人口 52,830人	亡くなった人 16人	
男 25,728人	転入した人 278人	
女 26,602人	転出した人 275人	



「守ろう人権、許すな差別」—誰もが幸福で生きがいのある社会を—

互いに相手の立場を考えて 豊かな人間関係をつくろう

人権の共存

12月4日～10日 第37回人権週間

12月4日～10日は、人権週間です。私たちが一人ひとりの「基本的人権」は、憲法によって保障されています。

「人権の共存」—互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう— この機会に、もう一度、人権の尊さを考えてみましょう。

人権はみんなが持つもの

私たちが幸福な生活を営むためには、お互いに人権を尊重することが大切です。そのためには、人権とは何か、人権の尊重とはどういうことかを正しく理解し、基本的人権が侵されることを

最大限に発揮して、より豊かな人生を送るため、互いに人権を尊重し合ひ、守り育てていかなければなりません。ところが、現実にはこの権利を勝手に気ままに間違って、他人の迷惑をかける、自分だけの意見を主張したり、勝手な行動をする人がいるため、他人の人権が侵される事件が起こっています。

人権擁護委員に気軽に相談を

あなたは、日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるかわからなくて困ったという経験はありませんか。たとえば、家庭内では、

向日市民ふれあいの集い

向日市民ふれあいの集い、11月16日、17日の2日、向日市民会館で開催され、11月16日、17日の2日、向日市民会館で開催されました。

向日市民ふれあいの集いを多彩に展開

11月16日～17日

この集いは、「向日市民会館」にかつて開かれたもので、漫才、のど自慢、市民文化祭など多彩な催しを繰り広げました。

市民生オケの自慢大会では、10代の小学生から80代のお年寄りまで市民28人が出場し、生バンドの、自慢の「のど」を披露しました。また、市民会館の各会議室では、市民文化祭、

最近、マスコミを通じて、相手の気持ちを思い、いわゆる「いじめ」に起因する殺人事件や自殺事件などが報道され、また、いじめ方に非常に陰湿なものや執拗な傾向が見られるようになったことが指摘されるなど、「いじめ」は大きな社会問題となっています。

この問題は、主として学校で起こり、児童・生徒の友人関係をめぐる学級教育と深くかかわる問題ですが同時に、心身ともに健全に育成されるべき児童・生徒の人権にかかわる問題であり、

そこで、市と城南人権擁護委員協議会では、「第37回人権週間」にちなんで、講演会を開催します。

▼日時 12月5日(木)午後1時30分～3時30分

講演会 「非行と家庭について」

場所 市民会館

▼相談内容 差別をうけたり、名誉・信用を侵されたり、婦人・子供や老人が虐待されているとき。また、家庭問題や借地・借家・交通事故問題などで困っているとき。

▼場所 市民会館

▼内容 「非行と家庭について」池川三郎氏 (仏教大教授)

▼申込み・お問い合わせ 秘書広報課内線251

▼日時 12月10日(火)午前10時～午後3時

▼場所 市民会館

▼相談内容 差別をうけたり、名誉・信用を侵されたり、婦人・子供や老人が虐待されているとき。また、家庭問題や借地・借家・交通事故問題などで困っているとき。

▼笹野貞子氏

▼中山仙三氏

▼濱田加奈子氏

▼三木窓外氏

現在の市には5人の人権擁護委員がおられます。

▼大橋正孝氏

相談は無料で、相談内容については秘密を守ります。

消費生活展、お米・牛乳の消費拡大展、明るい選挙啓発ポスター展、緑化ポスター展が同時開催されました。

市民生オケの自慢大会で各賞を受けられた方は次のみなさんです。

▼向日市長賞 西村茂

▼向日市議会議長賞 和智正幸

▼向日市農業協同組合組合長賞 生嶋嘉男

▼向日市商工連合会会長賞 岡田豊茂

▼実行委員長賞 五十嵐みちは

秋の全国火災予防運動中 <火の用心7つのポイント>

12月2日まで

怖いのは
“消したつもり”と“消えたはず”

向日市消防本部・消防団



- ①寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ②子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- ③風の強いときは、たき火をしない。
- ④天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
- ⑤家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ⑥ふろの空だきをしない。
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。